

キリンググループのCSV経営と環境ビジョン

Joy brings us together



健康

コミュニティ

環境

酒類事業を営む
キリングroupとしての責任

*1 「企業としての普遍的な責務」は、CSVパーパスには含まれない経営諸課題である“人権”や“人財”、“ガバナンス”、“道義的責任”など

- ▶ 環境の4つの重点テーマ(生物資源・水資源・容器包装・気候変動)は、別々の課題ではなく相互に関連しているために、**統合的**に解決していく
- ▶ 単に環境負荷を下げるだけではなく、**ポジティブなインパクト**を起こすことも目指していく

キリングroup環境ビジョン2050 ポジティブインパクトで、豊かな地球を

アプローチ: 統合的 (holistic)

環境のマテリアリティーである「生物資源」「水資源」「容器包装」「気候変動」が別々の課題ではなく、相互に関連すること、そのために統合的に解決することが必要であるという考え方



お客様をはじめ広くステークホルダーと協働し、自然と人にポジティブな影響を創出することで、
こころ豊かな社会と地球を次世代につなげます

最重要メッセージ: ポジティブインパクト

自社で完結する取り組みの枠を超え、**取り組みそのものとその波及範囲を社会全体へ拡大**し、これからの世代を担う若者をはじめとする社会とともに未来を築いていくという考え方

「シャトー・メルシャン」における日本ワイン事業を通じた
ネイチャー・ポジティブ

Joy brings us together

シャトー・メルシャン ビジョン
日本を世界の銘醸地に

キリングroup 環境ビジョン
ポジティブインパクトで豊かな地球を



シャトー・メルシャン 梔子ヴィンヤードについて

- ▶ 高品質なワイン用ブドウ栽培地を探していたメルシャン社と遊休荒廃地となっていた上田市丸子町陣場台地との出会い
- ▶ 100名を超える地権者を取りまとめた陣場台地研究委員会の尽力で、2003年開園後、現在30haまで拡張

メルシャン社

高品質なワインを造るためにワイン用ブドウ栽培に適した土地を探していた

丸子町陣場台地

養蚕業の低迷・連作障害・農家の高齢化等のため遊休荒廃地化していた



2003年 シャトーメルシャン 梔子ヴィンヤード開園へ

ワイン用
ブドウ栽培に
適した土地

- ✓ 陽当たりの良さ
- ✓ 雨の少なさ
- ✓ 排水の良さ
- ✓ 通気性の良さ
- ✓ 大きい日較差

陣場台地の持つ
気候風土そのもの

■ 参考動画: 梔子ヴィンヤード20年の歩み – YouTube (0:00~02:46)

<https://www.youtube.com/watch?v=XyODgznA8zY>



- 2014年からの農研機構*との共同研究で、「梔子ヴィンヤード」で多数の希少種（植物・昆虫）を発見
- 垣根栽培・草生栽培のブドウ畑が、良質で広大な「草原」の機能を持っていることを学術的に確認

*国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構



草生栽培のヴィンヤードは良質で広大な草原を構成していた



農研機構との共同研究で生態系調査を開始



「草原」は単位面積当たりの希少種の数最も多く貴重。140年ほど前は国土の約30%を占めていたが、現在は1%以下であり、「草原」そのものが希少となっている。遊休荒廃地を垣根栽培のブドウ畑にするために、下草を生やし、栽培の必要性から年に数回草刈りすることで、良質で広大な草原が回復し、極めて豊かな生態系を育てていることが学術的に確認できた。

梔子ヴィンヤードでの環境取組 NGO・地元小学校によるクララを増やす活動

- ▶ 希少種のおオルリシジミの幼虫の唯一の食草クララを増やす活動を、NGOとボランティアとで実施して成功、現在は地元小学校が参加、2023年からは市民の方々も参加

— NGO+ボランティア —

クララ再生活動



2019年に挿し穂取り(左上)を行い、農研機構で苗に養成した後、ボランティアが約2年間育て、2021年5月末に梔子ヴィンヤードに植樹

— 地元小学校 —



オオルリシジミ:環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種IA類

(写真は、農研機構が阿蘇で撮影したもの)

- ▶ ネイチャーポジティブとは生物多様性の損失を食い止めるだけでなく、回復を目指す考え方
- ▶ 「梔子ヴィンヤード」は、世界目標である30by30（海・陸域自然保護区30%）の達成に貢献
- ▶ 社会貢献ではなく、ブドウ栽培という事業を通じてネイチャー・ポジティブを実現しているユニークな事例

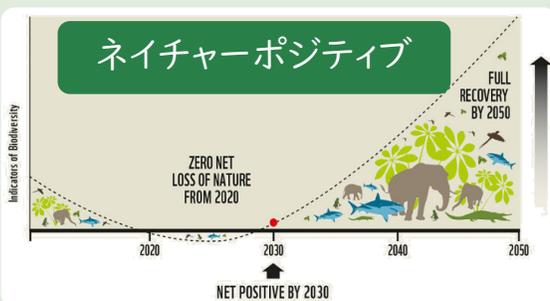
遊休荒廃地を草生栽培のブドウ畑へ



従業員による希少種・在来種再生活動



ボランティア・小学生によるクララを増やす活動



ネイチャー・ポジティブ

2030年までに生物多様性の損失を止めて逆転させる
ネイチャー・ポジティブと言う国際目標を事業活動を通じて(日本で唯一)実現した貴重な事例。



自然共生サイトで認定

梔子ヴィンヤードは陸域の30%を自然保護区域とする国際目標「30by30」達成のための実証事業で事業として農産物を生産している唯一の畑として2023年10月に「自然共生サイト」へ正式に認定。2024年には山梨県の『城の平ヴィンヤード』も同様に認定。

梔子ヴィンヤードの取組 地域との取り組み



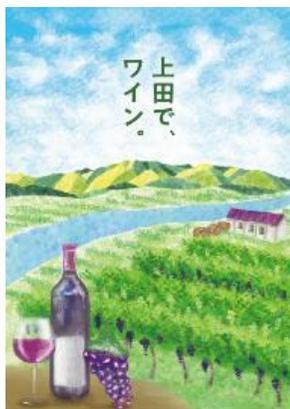
- 上田市とキリングroupは、2019年「ワイン産業振興を軸にした地域活性化に関する」包括連携協定を締結
- ワイナリーツアーを含むワイン関連イベントの展開などにより、ワイン関係人口を増やし地域経済の活性化に寄与

行政連動し地域を巻き込む取組

包括連携協定締結



「ワインの街 上田」認知向上の取組



梔子ワイナリーを舞台にした取組

梔子マルシェ

Mariko Marché 梔子マルシェ
 10/25 土 10:00~16:30 (L.O.16:00)
 10/26 日 10:00~15:30 (L.O.15:00)

入場無料
 ワイン&フードは無料となります

地元の美味しいフードを堪能しよう！
 地元のフードキッチンカー

地元の美味しいフード、梔子のワインと盛りだくさんです
 ワイナリーツアーやライブもあります

無料のワイナリーツアー（予約不要）
 15分間ワイナリーにてぶらぶら鑑賞

キッズコーナー
 あります
 やぎもいます！

会場に到着した
 数枚のグラス（ペーパータン）を
 片手にピクニック
 シットアウト気分を味わい
 ながらおしゃべりください
 ※抽選あり

臨時無料シャトルバス運行

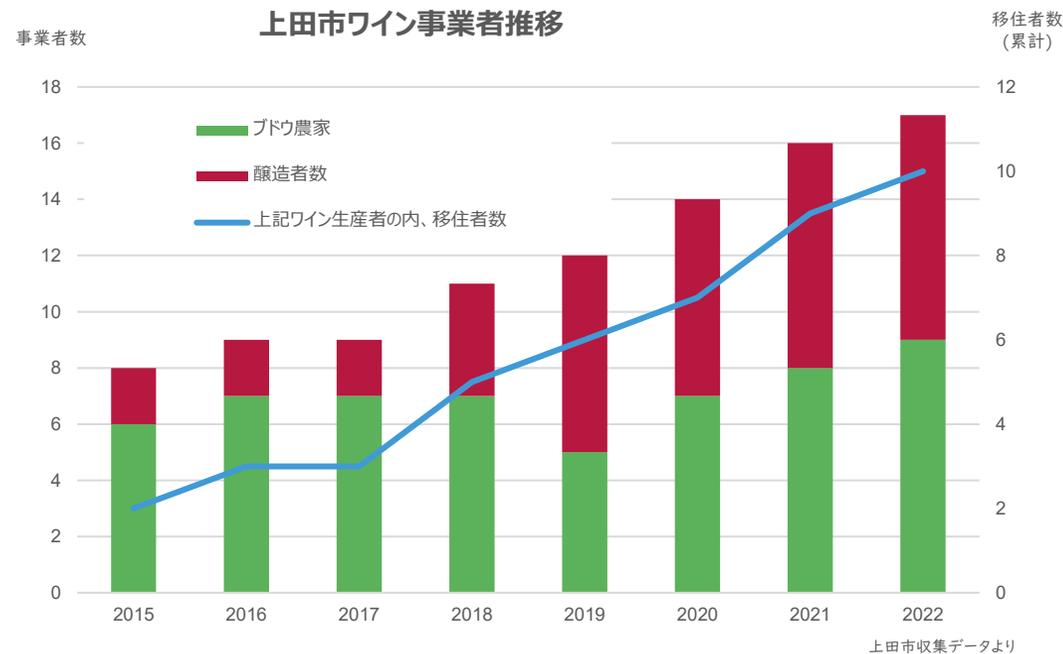
シャトルバス 梔子ワイナリー（無料）
 〒386-0407 長野県上田市長瀬146-2
 TEL: 0268-75-8790

電車の場合
 上田駅南口「大塚」からタクシーにて約10分
 (1日1回) 夕方タクシーにて約15分

お車の場合
 上田県自動車道「新原湯の丸」より約10分

シャトルバス	上田駅前バス停	シャトルバス	上田駅前バス停
10/25 土	10/25 土	10/26 日	10/26 日
上田駅前	上田駅前	上田駅前	上田駅前
10:00	10:00	10:00	10:00
10:30	10:30	10:30	10:30
11:00	11:00	11:00	11:00
11:30	11:30	11:30	11:30
12:00	12:00	12:00	12:00
12:30	12:30	12:30	12:30
13:00	13:00	13:00	13:00
13:30	13:30	13:30	13:30
14:00	14:00	14:00	14:00
14:30	14:30	14:30	14:30
15:00	15:00	15:00	15:00
15:30	15:30	15:30	15:30

上田市のワイン事業者は増加



ワインを通じた地域経済活性化への寄与
 ⇒ 将来的な上田へのワイン関連来訪者増、および、梔子ワイナリーへの来場者増へ

2024年11月 「環境教育・ESD実践動画100選」に選定

上田市×塩川小学校×麒麟ホールディングス×メルシャン×農研機構×地元のみなさん



塩川小学校との環境学習の様子



「環境教育・ESD実践動画100選」表彰の様子(2024年11月)



よろこびがつなぐ世界へ

Joy brings us together